

一般質問と答弁

～各議員のコードから動画が視聴できます～

6月17日

即応力を強化した危機管理体制で
28万区民の命を守れ

自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

新たな危機管理体制による風水害対応
問 先般の台風対応を踏まえ、区の風水害対策と即応力をどう強化していくか。
区長 警戒レベルに応じた迅速な初動対応や情報発信の強化を実施し、関係機関との連携を深め実効性の高い対策を推進していく。
問 豪雨対策サポートプランの取組状況と、浸水被害軽減に向けた今後の拡充について伺う。
区長 緊急用土のう保管箱の増設等、自助を促す取り組みを着実に実施している。ゲリラ豪雨等突発的な風水害にも対応できる体制の強化を進める。

原町一丁目9番地区防災街区整備事業
問 地震や風水害など、複合災害に備えた防災まちづくりを当該地区でどのように進めていくのか。
区長 準備組合等と連携しながら、建築計画や道路整備等に際し、水害リスク軽減に資する取り組みを進めていく。
問 建物の高さや日照、風環境等への懸念に丁寧に対応し、住民理解を得ながら、より良い事業計画につなげるよう区も積極的に関与すべきではないか。
区長 防災性向上を踏まえつつ地域に寄り添い、安心して住み続けることができるまちづくり推進に関与していく。

いじめ、交通安全、酷暑…
社会変化に合わせ区政転換！

めぐろの未来をつくる会（無所属・国民・維新） かいでん 和弘 議員

いじめの認知と早期介入の強化
問 区役所にいじめ対応部署を設置し、学校とは異なる第三者の立場で、より早期のいじめ発見と即時停止、被害者保護ができる体制をつくれないか。
区長 教育委員会との緊密な連携の下、早期発見・対応を強化し、重大事案は全庁で対応するなど現行制度の中で情報共有や支援体制の充実に努める。
電動キックボードの安全利用へ向けて
問 シェア型の小型電動モビリティ（※1）は便利な乗り物だが、危険運転への不安の声も多い。区独自の交通安全

対策を盛り込んだ協定を事業者と結べないか。
区長 協定の締結は現時点では考えていないが、事業者と安全な利用に向けた対策等の意見交換を行っている。また、警察署と連携し区画線整備や注意看板の設置、利用者への啓発等、事故防止に向けた取り組みを行っている。

暑い日の多い6月も水遊びをしたい
問 じゃぶじゃぶ池の前倒し運転を。
区長 一部の施設について来年度から運転期間の延長の可能性を検討する。

令和8年第3回定例会の予定 会期：9/3～9/30						
日	月	火	水	木	金	土
		9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
				議会運営◎ 本会議 （一般質問）	本会議 （一般質問）	
9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12
	議会運営◎ 本会議 （議案付託）	企画総務◎ 生活福祉◎ 都市環境◎ 文教・子ども◎	企画総務◎ 生活福祉◎ 都市環境◎ 文教・子ども◎	企画総務◎ （補正予算審査）	施設更新等調査◎	
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19
		決算◎	決算◎	決算◎	決算◎	
9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日	決算◎	決算◎	
9/27	9/28	9/29	9/30	議会運営◎ 本会議 （議案議決）		

◎本会議は午後1時、委員会は午前10時に開会予定です。詳しくはウェブサイトでご確認ください。
◎傍聴は、当日、目黒区総合庁舎本館5階の区議会事務局で受け付けています。
◎本会議と決算特別委員会は、インターネットでライブ中継 〻 を行っています。
◎録画映像は、ライブ中継後、およそ1週間後から視聴できます。

区民の安全・安心を守り、
住みよい目黒へ！！

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

私道防犯灯管理

問 私道防犯灯は重要なインフラ。防犯灯の老朽化を把握しているか問う。
区長 年数がたっているものが一部残っている状況は区も把握している。適切な維持管理や計画的な更新が行われるよう町会・自治会への一層の支援を図りながら取り組んでいく。
LED照明付け替えの火災防止対策
問 「水銀に関する水俣条約締約国会議」(※2)により来年末、蛍光灯製造が終了する。古い照明器具本体にLED照明使用は発火の恐れがあるため周知啓発を。
区長 蛍光灯からLEDへの交換に伴う火災を未然に防ぐため、照明器具とランプの適合性や経年劣化の危険性について、目黒消防署とも連携しながら分かりやすい周知啓発の充実を図る。
公園の暑さ対策
問 遊具が熱くて遊べない、ベンチに座れない。熱中症対策として「めぐろクールマップ」を作成し公園に掲示せよ。
区長 公園利用者に涼める場所をどういう形で伝えていか検討していく。

犯罪・学び・孤立から
子どもたちを守る

フォーラム目黒（立憲・れいわ・無所属の会）※ 後藤 さちこ 議員

SNS型犯罪から子どもを守る
問 闇バイトなどSNS型犯罪から目黒区の子どもたちを守るため、独自の啓発や防犯教育の充実について伺う。
教育長 警察署等と連携し、生活指導の教員に向けた最新の犯罪に関する研修や区立小・中学校でのセーフティ教室の実施等、安全教育に取り組んでいく。
特別支援学級の学びを支える
問 自閉症・情緒障害特別支援学級の教育効果と課題、通常学級への転級における柔軟な対応について伺う。
教育長 理解力の向上や情緒の安定等の効果がある一方、児童数増加に伴う人員確保等の課題がある。転級時は個別の状況に応じて柔軟に対応している。
不登校の子どもを孤立させない
問 校内別室指導の成果と今後の拡充、不登校を経験した生徒への卒業後の支援について伺う。
教育長 学習習慣の維持、心の安定等の成果が見られる。人員確保等の課題に対応しながら設置を拡充する。卒業後を見据えた支援の充実に努めていく。

夏休みの子どもに昼食を！
住まいは人権！家賃助成拡充

日本共産党目黒区議団 芋川 ゆうき 議員

イラン情勢や物価高騰などで苦しむ事業者や区民へ支援を！
問 石油由来製品の供給が不安定で苦しむ区内事業者へ支援をせよ。
区長 現時点で実施の予定はないが、国等の動向を注視し対策を進める。
問 低所得者世帯などにガス、電気代などの補助を行え。
区長 国の補正予算の使途や配分を見極め、必要な施策に取り組んでいく。
問 夏休みの子どもに昼食提供を行え。
区長 子ども食堂、学童保育クラブ等の昼食支援事業の効果を検証し、必要な支援の在り方を検討する。
子どもたちへの夏対策を充実せよ
問 学校の屋外プールに遮熱対策を。
教育長 各学校の実情に応じた効果的

な遮熱対策を調査研究する。
問 紫外線から子どもの目を守るため、サンングラス着用について区の考えは。
教育長 各学校・園において子どもの立場に立った適切な対応が図られるよう指導・助言していく。
住まいは人権！家賃助成など増やせ
問 目黒区は公営住宅が少なすぎる。増設に踏み出すべき。
区長 区有施設の見直し方針により、単独での新規建設は考えていない。
問 単身者、若者の家賃助成の創設を。
区長 収入状況や年齢等条件付けが困難なため新たに創設する考えはない。
問 高齢者、ファミリー助成の拡充を。
区長 限られた財源と幅広い支援とのバランスを考慮し、拡充はしない。

用語解説

※1 小型電動モビリティ 電気で動く小型の個人用移動手段の総称。
※2 水銀に関する水俣条約締約国会議 水銀汚染の防止を目的とした国際条約である水俣条約に加盟する国(締約国)が集まり、実施状況の確認や新たな対策を協議する国際会議。2023年(令和5年)開催の第5回締約国会議で、全ての一般照明用蛍光灯(蛍光灯)の製造・輸出入を2027年(令和9年)末に終了し、以後禁止とすることが決定された。

6月18日

介護人材政策における
確保から定着への視点転換について

白川 愛 議員

介護人材施策の効果は検証されているか
問 介護人材不足対策として実施されている研修、相談窓口、人材育成事業について、現場実態や人材定着への効果をどのように検証しているのか。
区長 参加者アンケートや介護保険事業計画の基礎調査等から、介護職員の確保・定着・育成と質の向上に寄与していると認識している。相談窓口については、認知度を高め、介護職員が安心して相談できる体制の充実に努める。

相談窓口の独立性や目黒区社会福祉事業団の人材定着・外国人材受け入れ体制の実態把握を踏まえ、委託事業の成果をどのような指標で評価し、PDCAの視点から事業改善や見直しにどのように反映していくつもりなのか。
区長 情報管理体制の整備や専門家による指定管理者運営評価、介護保険事業計画等での事業評価を行い、課題の改善や事業のブラッシュアップを進め、区民サービスの向上を図っていく。

急速に進むインフレ
身の丈に応じた支出を求む

山村 まい 議員

当初予算案が否決された場合
問 新年度まで約1週間の猶予しかないが、どのような対応を考えているのか、予算案の可決が遅れた場合に業務執行に与える影響はあるのか問う。
区長 3月31日までに再提案、再議、専決処分、暫定予算のいずれかを議決する必要がある。仮に暫定予算案を提出した場合、既存のサービスや最低限の行政運営のみが維持され、翌年度に本予算が成立するまで新規事業等は開始できないことが想定される。
身の丈に応じた支出を求む
問 急速なインフレにより既存事業の継続のみでも予算が肥大化していくと予想される。当初予算においては身の丈を超えた支出ではなく身の丈に応じた支出を願うが、今後の方針を伺う。
区長 身の丈に合った支出が大原則だが、物価高騰対策など区民生活を支えていくことを優先し、必要に応じて財政調整基金を活用していく。

国家事業GSC(※3)を迎える街づくりと
ごみ有料化の慎重姿勢

自由民主党目黒区議団・区民の会 おのせ 康裕 議員

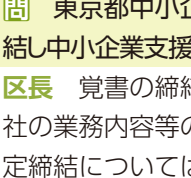
最先端研究施設GSCを迎える街づくり
問 GSC受け入れの渋谷区との連携について問う。
区長 GSCは目黒区および渋谷区にまたがる国有地を活用した構想であり、影響は両区共通して及ぶ。地域全体の観点から課題や動向の把握に努め、渋谷区とも連携して今後の進展を見据えた必要な対応を進めていく。
問 三田地区の2カ所の大規模開発とGSCを壮観した街づくりの可能性に

ついて問う。
区長 地域との情報共有を図りながら周辺開発の動向の情報収集に努める。
ごみの有料化は幾多の課題の解決の末にしか実現しない
問 ごみ有料化の課題と時系列、道筋の計画図の協議と作成方法を伺う。
区長 家庭ごみ有料化に伴う人員確保等さまざまな課題があるため、さらなる検証・検討が必要であり、現時点では計画図を策定する段階ではない。

用語解説

※3 GSC(グローバル・スタートアップ・キャンパス) 医療・AI・宇宙など新しい技術を活用した企業(スタートアップ)を育成し、経済成長や社会課題の解決につなげるための拠点整備の取り組み。大学や研究者、企業、投資家などが一体となり、研究から事業化、成長までを一貫して支援する仕組みを形成することを目的とする国のプロジェクト。
※4 ヨメテル 通話相手の声を文字表示するアプリで、(一財)日本財団電話リレーサービスが聴覚障害者向けに、令和7年1月よりサービスを開始。
※5 住宅確保要配慮者住宅提供促進事業 木造住宅密集地域内の不燃化加速取組地域に居住する住宅確保要配慮者が区内の不燃化加速取組地域外の民間賃貸住宅に転居した場合に、賃貸人と仲介した不動産事業者に対して協力金を提供する目黒区の事業。
※6 サブスク サブスクリプションの略。商品やサービスを1回ごとに購入するのではなく、一定期間ごとに利用料金を支払い、その期間中に継続して利用できる仕組み。

中小企業支援を！教員ハラスメント
相談窓口の周知徹底を！

めぐろの未来をつくる会（無所属・国民・維新） 吉野 正人 議員

東京都中小企業振興公社との覚書締結
問 東京都中小企業振興公社と覚書締結し中小企業支援を行うことへの見解は。
区長 覚書の締結はしていないが、公社の業務内容等の紹介をしている。協定締結については他自治体の内容を注視し調査研究していく。
区立小・中学校の東京都写真美術館利用
問 東京都写真美術館の教育普及プログラムによる体験学習充実への見解は。
教育長 部活動や自己選択学習も含め、

体験学習での活用について、校長会等を通じて学校に案内していきたい。
教育委員会のハラスメント相談窓口
問 教育委員会におけるハラスメント相談窓口の教職員への周知徹底、教職員が安心して働くことができる環境づくりについて伺う。
教育長 教職員に相談窓口を確実に周知し、丁寧な実態把握と適切な対応を通じてハラスメントのない学校職場づくりを目指す。

聞こえない！住居がない！
困った人へのサービス充実！

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

電話で相手の声が聞こえにくい人へ
問 聴覚障害者の電話利用を円滑にする「ヨメテル(※4)」の普及啓発を。
区長 名称やサービス内容等を広く周知する取り組みが一層必要であり、区報にも掲載し普及啓発を図っていく。
問 普及の際は、対象者に「ヨメテル」を実感してもらう対応ができないか。
区長 説明会を開催し、体験機会の提供や操作のサポートを実施する。
居住支援の充実に向けて
問 開始から2年間実績ゼロの「住宅

確保要配慮者住宅提供促進事業(※5)」を、前向きに取り組むべきだが、区の考えを伺う。
区長 不動産関係団体との定期的な情報共有、賃貸人等への制度内容や意義の継続的な周知と連携強化に取り組む。
問 対象範囲を木造住宅密集地域の枠を外し区内全域に拡大する考えは。
区長 限られた財源の中で、防災上の優先度が高い地域に限定して事業実施しており、対象範囲は現状を継続する。

今あるものを生かし、
できることから早く

フォーラム目黒（立憲・れいわ・無所属の会）※ 山本 ひろこ 議員

女子トイレの混雑対策
問 使われていない和式便器を洋式化し、実際に使える便器を増やすべき。
区長 各施設のトイレの利用実態等を踏まえ、洋式化も含めたトイレ利用の円滑化に資する対策を検討していく。
部活動の地域展開
問 場所はあるが指導者不足の部活動と、活動場所に困っている地域スポーツ団体をマッチングすべき。
教育長 地域のスポーツ団体との連携

は、地域の多様な人材活用、生徒の活動機会の充実につなげる有効な手法の一つと受け止め、仕組みを検討していく。
食と体験で地域防災
問 災害時の安全・安心のため、「食」を通じて地域とつながり、学校避難所を体験する機会を。
区長 学校を活用した炊き出し交流等先進事例は地域防災力を底上げする重要な取り組みであり、誰もが参加しやすい避難所運営体制の構築を進める。

住み続けたい、目黒のために

自由民主党目黒区議団・区民の会 木村 あきひろ 議員

区立園のおむつサブスク(※6)実施
問 区立保育園における保護者負担や保育士の業務負担の軽減に向け、おむつサブスク導入の課題整理等を行い、区立園での導入可能性について伺う。
区長 現時点での効果は導入の判断に至らない状況認識であるが、他自治体やメーカーからのヒアリング等により課題整理を行い、保護者ニーズや現場の意見を確認しながら検討を進めていく。

区立学校のデジタル教科書の今後
問 デジタル教科書の正式教科書化に伴い、紙の教科書との使い分け方針と、デジタル端末の使用に伴う児童・生徒への健康面・学習面の影響について伺う。
教育長 国の動向を注視しつつ、学校現場の実態、児童・生徒の状況に応じた活用の効果の研究を進める。視力や姿勢など健康面に配慮しながら、それぞれの利点や特性を生かした活用の定着と学びの質の向上に努めていく。